

バドミントンルールと審判について

0. ルールブック
1. 用語
2. 簡単なルール
3. 線審の仕方
4. 主審の仕方
5. スコアシートの書き方/見方

0. ルールブック

- 日本バドミントン協会発行のルールブックという物があります
- 本家の英文のルールブックをきちんと訳したものです
- 2年ごとに改訂版が発行されます

1. 用語

- マッチ
- ゲーム

現在のルールでは1試合(マッチ)3ゲームで行います。

ゲームの終わりには「ゲーム」と言って終了を宣言します。

「ゲームオーバー」ではないんです。

- セット(バドミントンにはこんな言葉は無いよ)

1. 用語

- ポイント(サーブ権がある側が得点したときにこういう人が居ますが、今は使いません。ゲームポイントやマッチポイントと言う言葉の中にあるだけです)
- デュース(審判用語としては使いません)
- サービスオーバー
サービス権が相手に移る時に主審がコールします。
ただのオーバーは正式な言葉ではありません。
- アバブザウエスト(正式な用語では無いし、この概念は無くなった)

1. 用語

- コートとエンド

(コートはサーバ側とレシーバ側を合わせた面、エンドはサーバ側あるいはレシーバ側の面のことを言います。チェンジコートというと、よそのコートに替わることを意味します)

- フォルト

バドミントンでは反則や失敗の時にフォルトと言います。

(解りやすいコールとしては”フォー！”が良いでしょう)

2. 簡単なルール

- 得点 21ポイント3ゲームラリーポイント制
- サービス権

試合の最初のサービスはトスで決めますが、それ以降のサービスはラリーで勝った方がサービスをします。

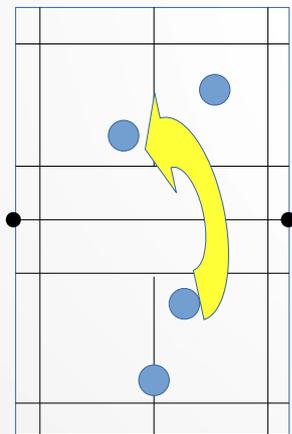
(卓球のように2点ずつでサービスを交代とかはありません。)

2ゲーム目以降の最初のサービスは前のゲームの勝者サイドが行います。

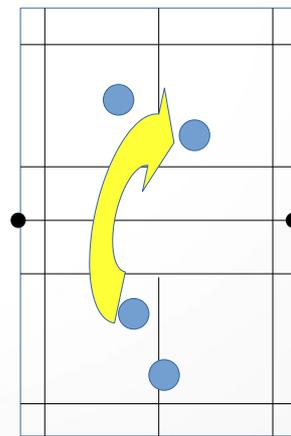
2. 簡単なルール

- サービスの位置と打つ方向

自分の得点が偶数の時は右側のエリアから、奇数の時は左側のエリアから、相手のコートの方角線側のエリアに向けてサービスを行います。



偶数点数



奇数点数

2. 簡単なルール

- サービスをする人、レシーブをする人（ダブルス）

自分たちのサービスで点数が入った時は左右の人が入れ替わります。

レシーブ側は入れ替わることはありません。

さっき自分たちが左右どちらで誰がサービスをしたのかを覚えておいてください。

- 休み時間

インターバル以外では休みを取ったりコーチの話を聞く時間はありません。

（自分の汗を拭きたいとかコート面が濡れたので拭いて欲しいとかを依頼して時間を取ることは出来ます）

ダブルスで選手同士で相談する時間も取ってはいけません。

2. 簡単なルール

- サービスのルール

サービスの時

どのラインも踏んでいないこと

シャトル全体がコート面から115cm以下に有る状態で打つこと

サービスの瞬間はサーバの両足は床から離れず、一部が静止していること

2023年にシャトルを打つときに回転を加えないことというルールが追加になりました

(中学の大会では最初はフォルトを取らないで一回注意しましょうということにしていますが、一般の試合では注意してはいけないことになっていますので一回注意することが常識だと思ってはいけません)

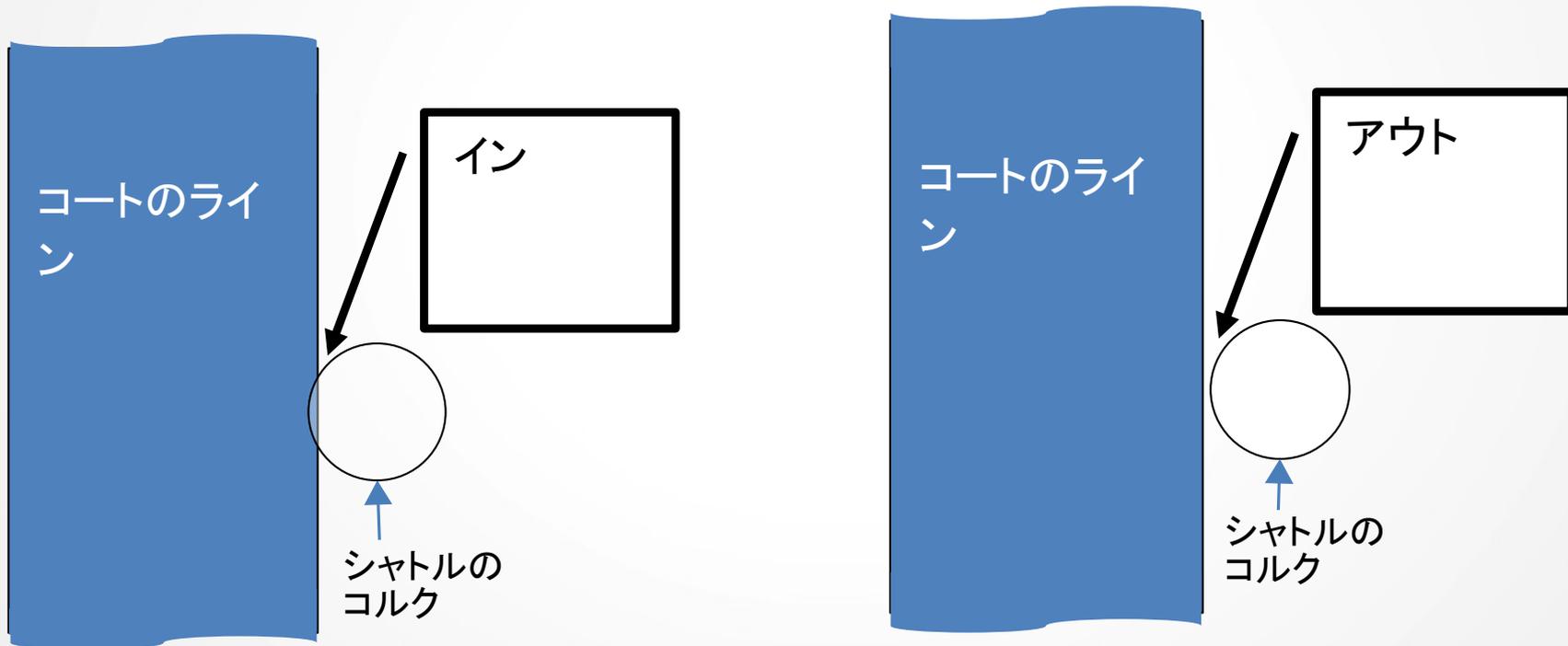
- サービスレシーブのルール

どのラインも踏んでいないこと

サービスの瞬間はレシーバの両足は床から離れず、一部が静止していること

2. 簡単なルール

- インとアウト



2. 簡単なルール

- 公式試合のウェア
- ウェアは白のウェアか日本バドミントン協会の検定に合格した物を着ることになっています。
- 各大会で特別に認めている物もあります。(関東Tシャツなど)
- 上記以外を着用して試合に出ると失格になることがあります。
- 一部のお店で検定合格品ではないものを誤って販売していると言う事も聞いていますので注意してください。

2. 簡単なルール

- 試合中の声出し

審判の立場からは不品行な振る舞いとして注意します

コーチの立場からは、学生のうちは大いに声を出して自分を鼓舞するようにすべきだと思っています

但し、相手を脅すような声出しの仕方は注意します

大人の全国大会などでは注意されますので大人になったら控えるようにしましょう

3. 線審の仕方

- 線審に必要なこと

シャトルの落ちる先をよく見ること

(私のコツとしてはシャトルの30cm～1mぐらい先を見るようにしています)

選手がこのシャトルは打つだろうと思いつままないこと

自信を持ってジャッジすること

アウトの時は大きな声でジャッジを伝えること

はっきりしたジャッジサインを出すこと

(かっこいいと思われる線審をしましょう)

3. 線審の仕方

- 線審のジャッジサイン

インの時

指をそろえて右手をまっすぐ前に出してください

アウトの時

腕を横に広げて手のひらを正面に向けて

「アウト!」と大きな声で言います

(大きな声で言うコツ:「アウト」では無く「アウト」と言ってみてください)

(手のひらを下に向けて飛行機の羽根のようにするのはアウトのサインではありません)

ジャッジサインは長めに出しててください(2秒ぐらい)

3. 線審の仕方

- インかアウトか迷った時

それでも自信を持ってサインを出してください

首をひねったりもしないでください

線審が迷っていると選手がクレームを付けたくなくなります

- 周りに居る人が「えー！？」とか「今のは間違ってるよ」と言っても気にしないこと

- 仮に間違っているとしても線審にそう見えののであれば見たとおりにジャッジしてください

(いい加減なジャッジをして良いわけではありませんよ、ちゃんとシャトルを目で追いかけて、着地点を見ていてそう見えたのであればと言う事です)

3. 線審の仕方

- 役割範囲

線審はシャトルが正しくコート内に入ったかアウトしたかの判断だけをします

(ワンタッチして出たとかは線審の仕事ではありません)

サービスのセンターラインは基本的に主審の責任です

(基本的にと言うのはセンターラインの線審が付いた時はそちらの責任になりますので)

3. 線審の仕方

- 役割範囲(続き)

2人線審の時は自分の前の2本の線を、4人以上の線審の場合は自分の前の1本の線だけを判定します。

サービスジャッジ/得点係はラインのインアウトの判定はしてはいけません。

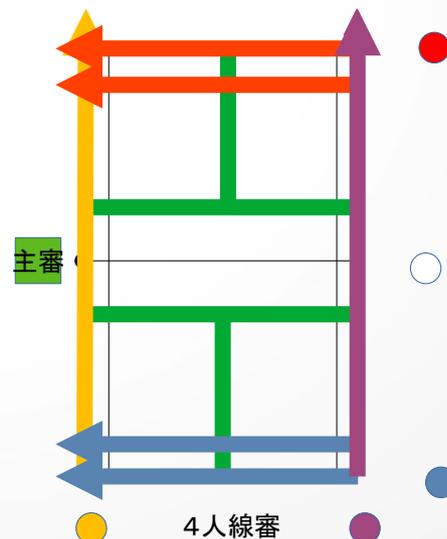
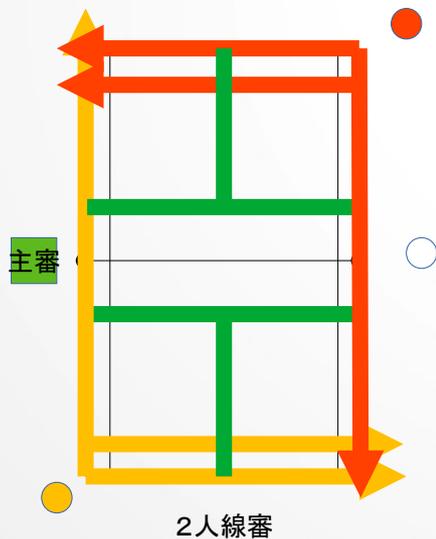
どこまでイン/アウトの判定をするかというと、アウトはどこまでもアウトのサインを出します。

インは私の感覚では半分より自分寄りであればインのサインを出します。

3. 線審の仕方

- 役割範囲(続き)

ダブルスの時のラインの判定範囲は下の図の様になります。



4. 主審の仕方

- 主審はその試合の全責任を持ちます
- 線審が明らかに間違った判断をした時は主審が訂正します
(シングルスとダブルスのラインを間違えているみたいとか)。

その場合は主審は「コレクション ○○(インやアウト)」と言って訂正します)

(但し、外野から線審を守るのも主審です)

4. 主審の仕方

- まず最初にする事

- ①線審と得点係が正しい位置にいるかの確認

- (ダブルスとシングルスで線審の位置を変えさせてください)

- ②選手を集めて名前を確認します

- (このとき、スコアシートの名前のところに選手の特徴を書きましょう。

- ツインテールとか眉が細いとか何でも良いです)

- ③トス(練馬とかの試合であれば大体じゃんけん)

4. 主審の仕方

- ④ トスに勝った方にエンドを取るかサービスを取るか
レシーブを取るかを確認します
- ⑤ トスに負けた方に残りの権利をどう使うか確認します
ダブルスの場合サービスを取った方のどちらが最初
のサービスを行うかを確認します
同じく反対側のどちらが最初のレシーブを行うか確
認します
- ⑥ 確認したことを審判用紙に書きます

4. 主審の仕方

- 試合の開始

- ①正式な大会ですとアナウンスをします

- (オンマイライト〇〇さん、オンマイレフト××さん、
と言って主審も選手を間違えていないことを確認します)

- 中学の試合でしたら.....

- ②「ラブオール」と言って審判用紙のサーバとレシーバの
最初の欄に0を書き込んで「プレイ」と言って試合を始め
ます

4. 主審の仕方

- 点数の言い方

点数はその前のラリーに勝った方の点数を先に、英語で言います。

(例えば、2対1ならトゥーワン)

- サービスする人とレシーブをする人の確認

次に説明するスコアシートの所で詳しく言いますが、ダブルスの時はペアのどちらがサービスする番なのか、どちらがレシーブをする番なのかを毎回確認します。

4. 主審の仕方

- 点数の言い方

点数はその前のラリーに勝った方の点数を先に、英語で言います。

(例えば、2対1ならトゥーワン)

- サービスする人とレシーブをする人の確認

次に説明するスコアシートの所で詳しく言いますが、ダブルスの時はペアのどちらがサービスする番なのか、どちらがレシーブをする番なのかを毎回確認します。

4. 主審の仕方

- インターバル

バドミントンでのインターバルとは休み時間を意味します。

通常の21ポイントの試合の場合は11ポイントで60秒以内のインターバルが、ゲーム間で120秒以内のインターバルが取れます。

「インターバルを取りますか？」という問いかけはしません。

11点になったら「インターバル」と言ってタイマーをスタートさせます。

もし両サイドの選手がインターバルは要らないと言った場合は2～3秒のインターバルがあったという考え方をします。

ですのでこのときは直ぐにタイマーを止めて「11-?(その時の得点)プレイ」と言ってプレイを始めさせます。

4. 主審の仕方

- インターバル(続き)

インターバル終了の20秒前になっても選手がコート内でプレイの準備をしていない場合は「コート?(コート番号) 20セカンド (トゥエンティセカンド) と2回コールして、インターバルが終わるのでコート内で準備をするように促します。

11点でのインターバル後は「11-?(その時の得点)プレイ」と言ってプレイを始めさせます。

4. 主審の仕方

- 周りからのクレーム対応

主審は周りの応援の人や選手からのクレームによって自分の判定を変えてはいけません。

応援者や選手からのクレームで判定を変えるとその反対側を不利にすることになります。

自分に見えたとおりに判定するしか有りません。

- 周りから、今のは主審が見えてないんだからレットにしろという人も居ますが、レットに出来る事柄もルールブックに規定されていて、何でもレットに出来るわけではありません。

どうしても判定に困った時はサービスジャッジに意見を求めることが出来る様になりました。

4. 主審の仕方

- 試合を開始する時に主審がすること
 - ①選手をネットそばに集める
 - ②名前を確認してスコアシートに選手の特徴を書く
 - ③トスをしてサーバ、レシーバ、エンドを決めてそれをスコアシートに書く
 - ④審判台に上る
 - ⑤選手が正しい位置にいることを確認する
 - ⑥試合開始のコールをしてスコアシートに0-0を記入して「ラブオール・・・プレイ」を言う

4. 主審の仕方

- 試合中に主審が気をつけること

①サービスの時にサーバー/レシーバーをほぼ均等に見る様にして(サービスジャッジがない場合。サービスジャッジがいる場合は主にレシーバーを見る)、サーブのシャトルの30cm先を追う

②10点または20点になったらタイマーを手元に持ってくる

③11点になったらタイマーをスタートさせて「インターバル」と言う

④インターバル終了20秒前に「20秒！」と2回コールする

⑤21点になったらタイマーをスタートさせて「ゲーム」と言う

(21をスコアシートに記入する前に「ゲーム」と言う)

⑥スコアシートに21を記入する

⑦「ファースト(セカンド)ゲームワンバイxxさん 21-yy」と言う。

4. 主審の仕方

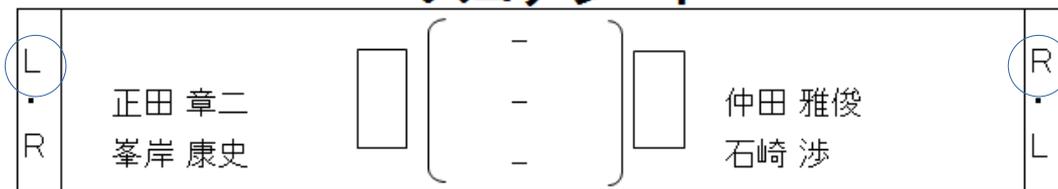
- 佐藤が主審の時にやっているコツ
 - ①審判用紙をちょっと傾けて右の選手と左の選手が区別しやすくする
 - ②シャトルの30cmぐらい後ろを見る(サービスの時を除いて)
- 線審の時のコツ
 - ①シャトルが自分の担当の線の方に飛んで来た時はシャトルの1mぐらい前を見る
 - ②「アウト」はなるべく大きな声で言う
 - ③アウトはどこまでアウトしていても(アウトと言わなくても解るぐらいでも)「アウト」と言う
 - ④自分が担当している線の1.5m以内に入ったらインのジャッジシグナルを出す
 - ⑤インもアウトもジャッジシグナルは2秒以上出す
(ジャパンオープンでは5秒と言われた)
 - ⑥アウトのジャッジシグナルを飛行機の羽根にしない
 - ⑦だらっとした形にしない

4. 主審の仕方

⑥ (通常) 11点になったら11-2インターバルとコールします。そしてストップウォッチを押します。

大会名	区民大会
種目	男子複
試合番号	1
コート番号	1
期 日	

スコアシート



練馬区バドミントン協会



選手名		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
正田 章二 <small>左利き</small>													
峯岸 康史 <small>右利き</small>	S	0	1										
仲田 雅俊	R	0											
石崎 渉 <small>若い</small>			1	2									

正田 章二													
峯岸 康史													
仲田 雅俊													
石崎 渉													

勝者署名 _____

主審署名 佐藤 花明 _____

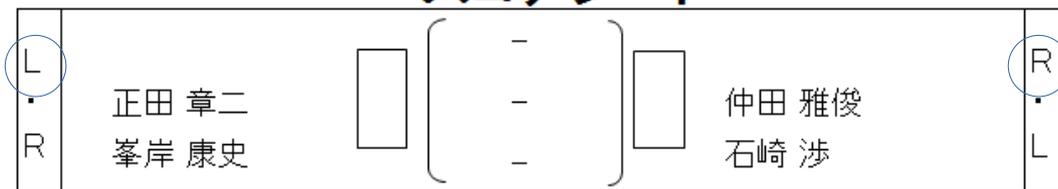
レフェリー署名 _____

4. 主審の仕方

⑦40秒たったなら「20秒！」と2回コールして選手をポジションに着かせます

大会名	区民大会
種目	男子複
試合番号	1
コート番号	1
期 日	

スコアシート



練馬区バドミントン協会



選手名		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
正田 章二 <small>左利き</small>													
峯岸 康史 <small>右利き</small>	S	0	1										
仲田 雅俊	R	0											
石崎 渉 <small>若い</small>			1	2									

勝者署名

主審署名 佐藤 花明

レフェリー署名

4. 主審の仕方

点数(この場合は11-2)をアナウンスして「プレイ」で試合を再開します

大会名	区民大会
種目	男子複
試合番号	1
コート番号	1
期 日	

スコアシート

L ・ R	正田 章二 峯岸 康史	[- - -]	仲田 雅俊 石崎 渉	R ・ L
-------------	----------------	-----------------	---------------	-------------

練馬区バドミントン協会



選手名		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			
正田 章二 <i>左利</i>														
峯岸 康史 <i>右利</i>	S	0	1											
仲田 雅俊	R	0												
石崎 渉 <i>若い</i>			1	2										

勝者署名 _____

主審署名 *佐藤 花明*

レフェリー署名 _____

